

三の丸地区のまちづくりに 向けた組織・体制について

【令和4年度 研究成果報告会】

名古屋都市センター 調査課

中野 優

調査研究の背景・目的

現状 地区内建物の老朽化、にぎわいの分断

今後 リニア中央新幹線開業

転換期

名古屋の核心エリアとなるような
新たなまちづくりを進める必要

新たな価値の創出、
課題の解決 等

多様な方と連携・協力しながら、段階的にまちづくりを進め、
マネジメントしていく組織・体制が必要

組織・体制に着目

目的

三の丸地区において、段階的にまちづくりを
推進していくための組織・体制を提案

◆他都市へのヒアリング調査

- ・ UDCK／大阪ビジネスパーク協議会／
仙台市定禅寺通／盛岡市内丸地区

報告書参照



◆ヒアリング調査の整理

- ・ 調査から見えてきたこと



◆提案

- ・ 三の丸地区でのまちづくりの段階における
組織・体制の主な取組み、可能性

他都市へのヒアリング調査

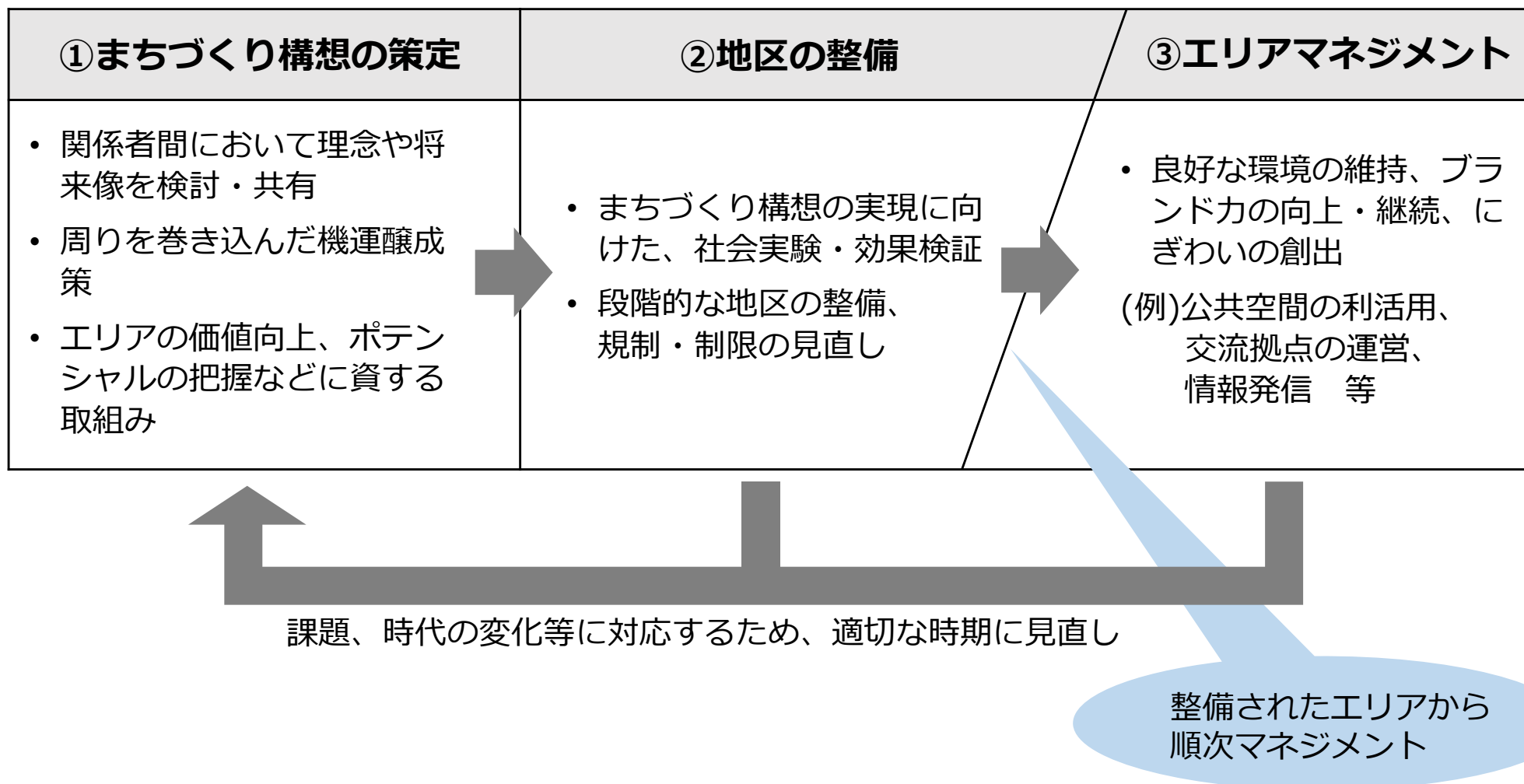
- 特徴の異なる（地区の状況、組織・体制の参画者、取組み内容等）事例をヒアリングの対象とした
- 主なヒアリング事項として、活動されている地区の概要、組織設立の経緯、組織・体制の概要、これまでの取組みなど

ヒアリング先	特徴
UDCK／柏の葉アーバンデザインセンター	首都圏の郊外に位置し、 公・民・学の連携 により、まちの課題解決に向けた様々な取組みを進めている プラットフォーム
一般社団法人大阪ビジネスパーク協議会	大阪の都心に位置し、地区内の民間企業で構成 され、 エリアマネジメント の取組みを進めている一般社団法人
仙台市役所（定禅寺通活性化検討会）	仙台市の都心に位置し、定禅寺通の沿道地権者やまちづくり団体、市役所等で構成 され、 将来像の検討や実践的な取組み を行う団体
盛岡市役所（内丸地区のまちづくりに向けた検討体制）	内丸地区（ 官庁街 ）を対象に、 地区内の地権者を中心に、学識者、市民にも参画 いただき、 地区の将来像を検討 する体制

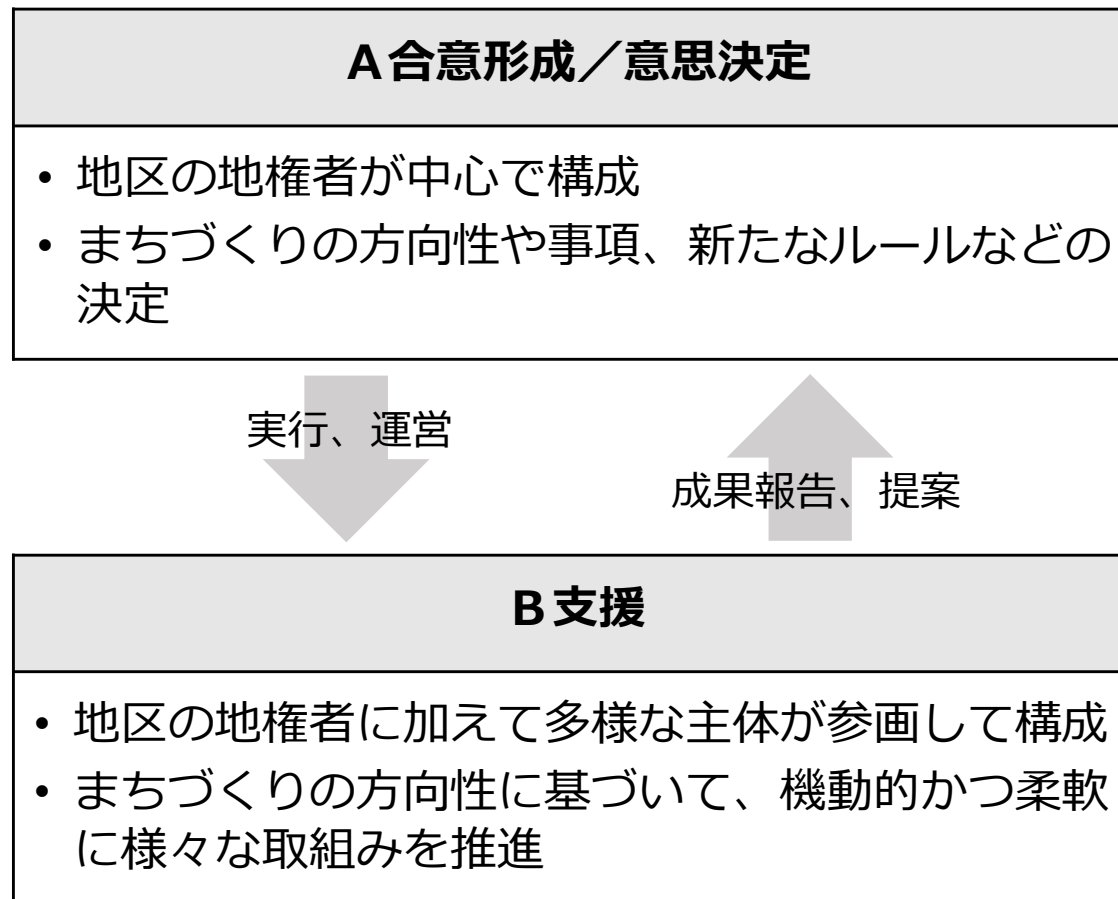
- **組織・体制が設立に向けて動き始めるキッカケ**としては、**事業実施**（つくばエクスプレスの開通、土地区画整理事業）に伴う場合、**課題解決**（にぎわいの低下、建物群の老朽化）に向けた場合
- **組織・体制の設立が実現する**にあたっては、**キーパーソン**（首長、企業の協力、地域の思い、人のネットワーク）の存在が大切
- **まちづくりの段階**として、3つに分けて整理
- **組織・体制**として、2つの役割が重要
- **組織・体制を維持していく**ためには、**多様な主体の連携**（行政：支援、規制緩和
民間：協賛金、ノウハウ、地域の思い 大学：人材）が必要

後述

他都市のヒアリング調査より、**まちづくりの段階として3つに分けて整理**



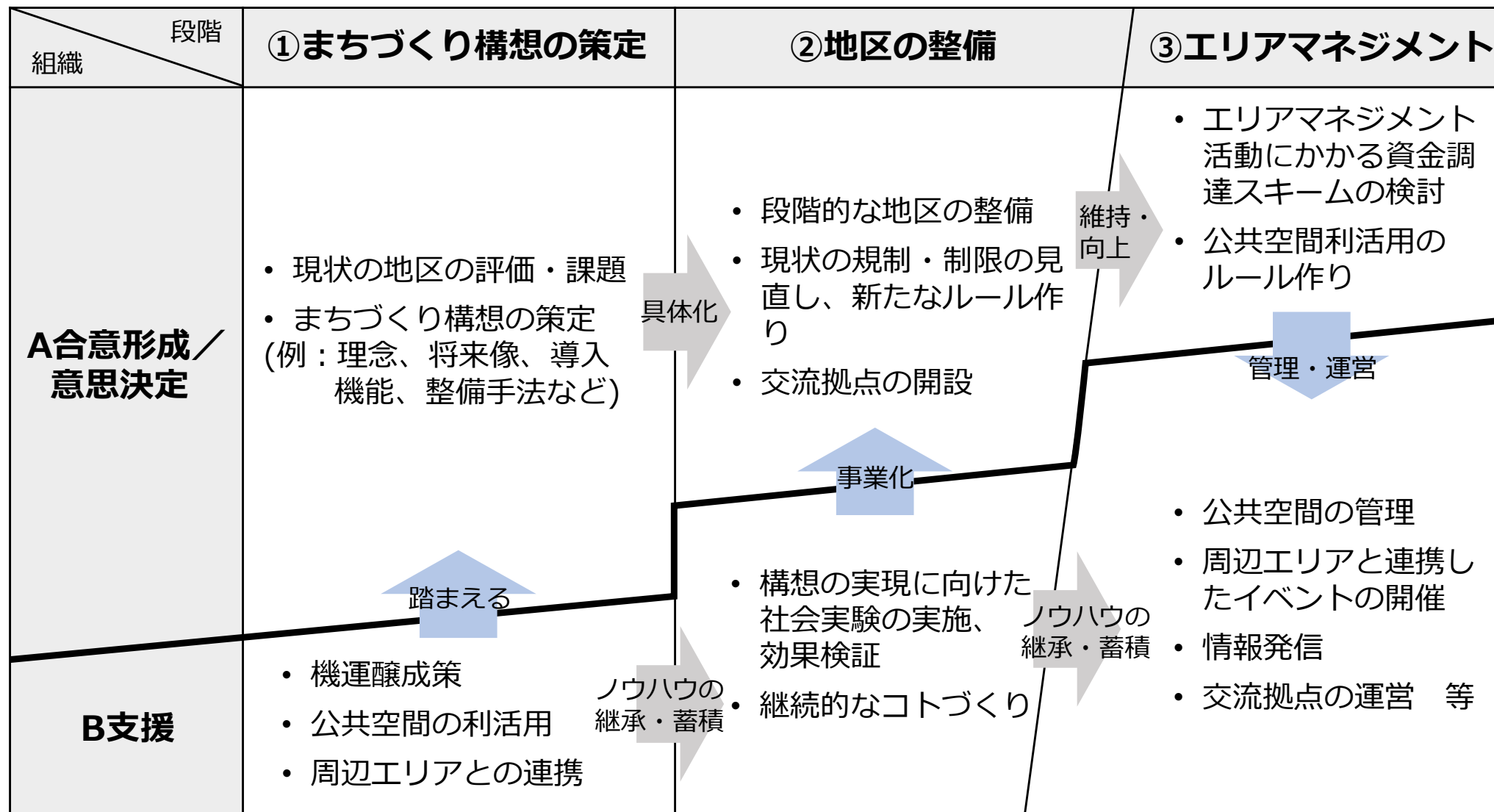
他都市のヒアリング調査より、**組織・体制の役割**として2つに分けて整理



国、県、市の地権者

有識者、中部経済連合会、
名古屋商工会議所、名古屋
都市センター、UR都市機構、
警察、イベント団体 等

提案 -三の丸地区における組織・体制の取組み-



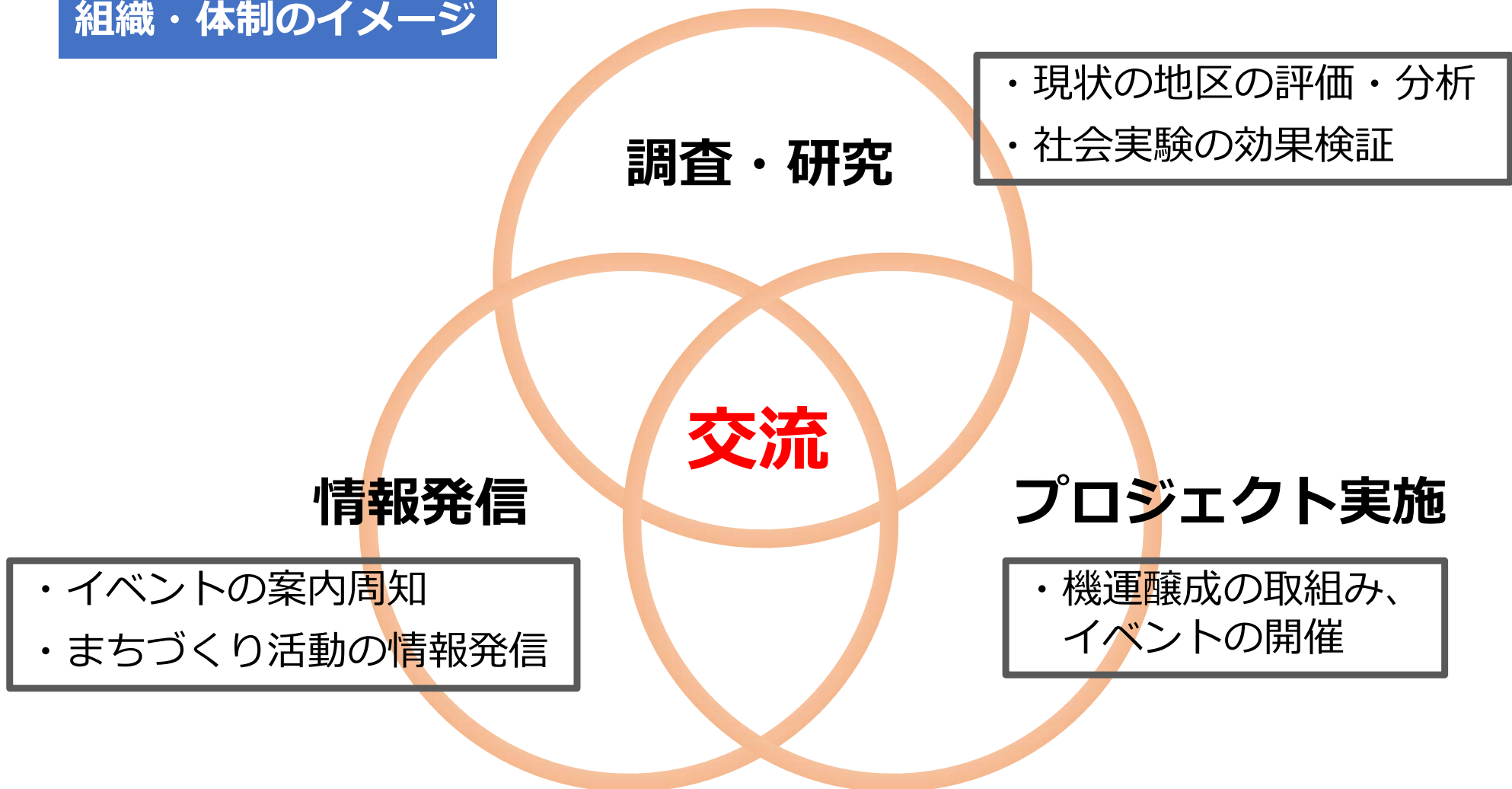
・学識者、財界
・名古屋都市センター

・民間事業者
(PFI、開発、テナント)

・周辺地区のまちづくりプレイヤー
・賛同企業・大学・市民

- ・ **三の丸地区**は行政機関の集まりであり、**機動的かつ柔軟な動き**が取りづらい
- ・ 三の丸地区のまちづくりを進めるには、**第三者として支援するような組織・体制**が、**三の丸地区内に拠点として設置**されることが必要なのではないか

組織・体制のイメージ



ご清聴ありがとうございました

三の丸地区